

ユーティリティ
シリーズ

YouTube

で検索!!

水性軽モル

水性なのに
エポキシ
モルタル
のように施工可能



9L

コンクリート充填補修用
軽量水性樹脂モルタル

水性 軽モル

超軽量で
エポキシ
モルタルの様な
抜群の作業性

水で練って
水で洗える
から楽々施工

**溶剤
不使用**
だから無臭!
環境にも優しい

70分で
硬化する
速硬型

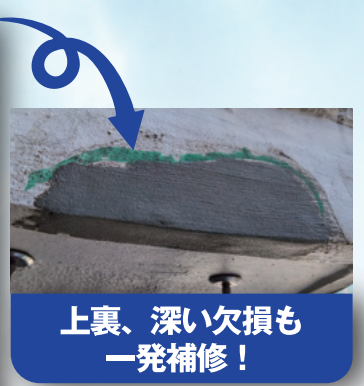
補修前



充填



成形



上裏、深い欠損も
一発補修!

プライマー不要! ダレない! 成形性◎! 周囲を汚さない! から簡単

※爆裂補修の場合は「水性軽モル防錆プライマー」を使用



ヤブ原産業株式会社
YABUHARA Industry CO.,LTD

水性軽モル

「水性軽モル」は、特殊軽量骨材の配合により優れた施工性と環境性能を両立した、超軽量の特殊樹脂モルタルです。タレが起きにくい圧倒的な軽さにより、従来の樹脂モルタルでは困難とされていた垂直面や天井への厚塗り施工を行うことができます。また、エポキシ樹脂モルタルに匹敵する良好な作業性を維持しながら、独自の技術により「完全溶剤レス」を実現しました。溶剤を使用しないため、無臭のクリーンな環境で施工できることに加え、使用後の道具も水で手軽に洗浄でき、シンナー不要。作業者の負担軽減に大きく貢献します。現場の安全性向上と、安全・環境配慮を高い次元で実現する次世代の画期的な材料です。

超簡単
5ステップ

施工手順



- 脆弱部分の研り・ケレンを行い、塵埃・土砂等をほうき、ブラシ等で清掃します。埃・砂などが残っていると剥がれの原因となります。処理後も下地が脆弱な場合は「ガッチリ浸透プライマー W」で強化します。
- 【欠損の場合】**
補修箇所全体をドライアウト防止・接着増強のため、しっかり水で湿らせます。
【爆裂の場合】
補修箇所全体に「水性軽モル防錆プライマー」を300g/m²を目安に塗布します。
- 本製品をポリ袋等に移し、製品100gに対して28gの水で混練します。必要に応じて、水量を変えて粘度調整が可能です。
- 下地が十分湿っていることを確認し、(乾いている場合は再度水打ち)下地の凹凸に擦り込むように指先で入念に下擦りを行います。
※「水性軽モル防錆プライマー」を塗布した場合は不要です。
- 下擦り(爆裂の場合は「水性軽モル防錆プライマー」)が乾燥する前に、混練した本製品を補修箇所に充填します。補修箇所を覆うように、大きめに充填した後、金ゴテ・ヘラ等で余剰分を切り取り、表面を成形します。材料は30分以内に使用してください。(23℃時目安)

■ 用途

- ・コンクリート構造物の欠損・爆裂部の補修
- ・不陸、段差部の調整

■ 施工面積

- ・約7L(練上がり量)分の欠損
(10cm角、深さ2cm×35箇所)

■ 荷姿

※容器は事前の予告無く変更になる場合があります



水性軽モル 9L



水性軽モル
防錆プライマー 500g

※爆裂の場合のみ使用

この他にも大面積用、お試し用サイズもご用意しております。
詳しくは販売店にお問合せください。

■ 次工程への間隔時間 (23℃時の目安)

- ・水性塗料・モルタルを施工する場合は、3時間を目安としてください
- ・溶剤系材料を施工する場合は、翌日以降としてください

■ 適用仕上材

- ・セメント系材料、陶・磁器タイル、各種塗料、
各種防水材などが施工可能です

■ 塗り厚 ※上げ裏面、10cm角の欠損

- ・3～35mm程度

■ 技術データ

建築改修監理指針 欠損部充てん用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)

項目	結果	基準値
曲げ強さ	7.3	6.0以上
圧縮強さ	34.4	20.0以上
付着強さ	標準	2.1
	標準	1.0以上
	N/mm ²	
だれ	湿潤時	0.9
	低湿時	0.7
下がり量		0
	mm	5以内
表面状態	異常なし	ひび割れが発生しないこと
透水性	合格	表面のぬれ、水滴の付着がないこと

建築改修監理指針 断面修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)

項目	結果	基準値
曲げ強さ	7.3	6.0以上
圧縮強さ	34.4	20.0以上
付着強さ	標準	2.1
	標準	1.0以上
	N/mm ²	
温冷繰り返し後	1.9	1.0以上
吸水量(5時間浸水)	5.5	20.0以下
透水量	0.05	0.5以下
長さ変化	-0.06	0.15以下

練上り量
約7L

■ 施工上の注意

- 既調合品なので水以外は加えないでください●硬化時間は気温により変化しますので、ご注意ください。夏(35℃)は、混練後30分程度で、冬(10℃)は、130分程度で硬化します●手で施工する場合は、必ずゴム製等の水等が浸みこまない保護手袋を着用してください。材料はアルカリ性が強いので、肌荒れ、炎症のおそれがあります●作業時に粉体を吸い込まないようにしてください。眼に入らないようにしてください。必要に応じて保護マスク、保護メガネを着用してください●床面で露出仕上げは推奨しません●車両走行を想定した床面では「マツハコン」の使用を推奨します



ヤブ原産業株式会社

本社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
URL <https://www.yabuhara-ind.co.jp/>
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp